

おわりに

これまで、紹介してきた統計調査は、
生産に関するものと消費に関するものであり、
景気・動向などを把握する統計としては大変重要な指標です。

しかしながら、統計は
本書で扱ったものがすべてではありません。

たとえば、このたび、
多様化する企業活動の実態を把握するため、
企業を対象とした「通商産業省企業活動基本調査」が新設されました。

近年、企業の活動は技術革新、
消費者ニーズの多様化等の経済環境の急激な変化を背景に
多様な展開を示しています。

経営ノウハウ、技術、資金などを活用し、
多分野、異業種にまたがる広範な事業展開がみられ、
しかも、それらの事業展開は、自企業内にとどまらず、
子会社の設立、他企業との連携、
国境を越えた国際的な組織展開となって現れてきています。
また、生産・販売活動を支援する調査・研究開発やソフト開発、
情報の収集・活用などのソフト面での活動も活発に行われており、
その結果として、我が国産業構造に
さまざまな変化をもたらしています。

このような実態を把握するために、
「通商産業省企業活動基本調査」は創設されました。
その結果は来年の秋頃に速報として公表する予定ですが、
産業界、学界からも高い関心が寄せられています。

本書で扱った以上に統計は多様であり、
またさらに多くのことを教えてくれます。
本書が読者の皆様の統計に対する理解を深め、
統計を一層活用するきっかけとなれば、大変に幸せです。